三 重 大 学 大 学 院
工 学 研 究 科 博 士 前 期 課 程

第 2 次学生募集要項

令和 9 年 4 月入学

重要

出願期間内に、
① WEB システムへの出願
② WEB システムから出力された書類及びその他の必要書類を当方へ郵送し提出

上記①②を**両方行うことで**出願は完了します。
募集要項該当箇所を熟読してください。

令和 8 年 10月

【 入 学 試 験 日 程 表 】

＜一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜＞

<table>
<tr><th>内　　容</th><th colspan="3">日　　程</th><th>掲載ページ</th></tr>
<tr><td>障害等のある入学
志願者との事前相談</td><td colspan="3">令和８年10月19日(月) ～ 10月30日(金)まで</td><td>13～14ページ</td></tr>
<tr><td>入学資格審査申請期間</td><td colspan="3">令和８年10月19日(月) ～ 10月30日(金)まで</td><td>10～11ページ</td></tr>
<tr><td>入学資格審査結果通知</td><td colspan="3">令和８年11月16日(月)以降</td><td>11ページ</td></tr>
<tr><td>国外志願者のｵﾝﾗｲﾝ
受験審査申請期間</td><td colspan="3">令和８年10月19日(月) ～ 10月30日(金)</td><td rowspan="2">11～12ページ</td></tr>
<tr><td>国外志願者のｵﾝﾗｲﾝ
受験審査結果通知</td><td colspan="3">令和８年11月16日(月)以降</td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td colspan="3">【①WEBシステムへの出願期間】
令和８年12月22日(火) ～ 令和９年１月12日(火)

【②郵送による出願期間】
令和８年12月22日(火) ～ 令和９年１月12日(火)

※期間内にWEBシステムに出願（①）し、出力された書類及びその他の必要書類を郵送（②）する必要があります。
※①及び②を<u>両方行うことで</u>出願は完了します。
※①か②片方しか行わなかった場合は出願を受け付けません</td><td>4～5ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="4">選　抜　試　験</td><td rowspan="2">一　　般</td><td>学 力 検 査
(機械工学専攻)</td><td>令和９年１月21日(木)</td><td rowspan="4">5～9ページ</td></tr>
<tr><td>面　接
(機械工学専攻)</td><td>令和９年１月22日(金)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外 国 人</td><td>学 力 検 査
(機械工学専攻)</td><td>令和９年１月21日(木)</td></tr>
<tr><td>面　接
(機械工学専攻)

口述試験及び面接
(情報工学専攻)</td><td>令和９年１月22日(金)</td></tr>
<tr><td>外 国 人
(ｵﾝﾗｲﾝ受験)</td><td>オンラインによる
口述試験及び面接</td><td>令和９年１月22日(金)</td></tr>
</table>

合格者の発表	令和９年２月12日(金)	9～10ページ
入　学　手　続	令和９年３月下旬	

「注」１．各内容の詳細については，該当の掲載ページで確認してください。
２．自然災害や人為災害，感染症の全国的な拡大等によっては募集要項に記載のある出願要件，出願期間，試験日及び入学試験の実施方法等を異なる内容に変更する可能性があります。変更のある場合は工学研究科webサイトにて掲載する予定です。三重大学大学院工学研究科webサイト https://www.eng.mie-u.ac.jp/ をご確認ください。

目　　次

○　三重大学大学院工学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー　……　1

○　三重大学大学院工学研究科博士前期課程入学試験について　……　2

○　令和９年度（令和９年４月入学）三重大学大学院工学研究科博士前期課程第２次学生募集要項
Ⅰ．募集専攻及び選抜別募集人員　……　3
Ⅱ．出願資格　……　３～４
Ⅲ．出願手続　……　４～６
Ⅳ．入学者選抜方法等　……　７～９
Ⅴ．合格者の発表　……　9
Ⅵ．入学手続　……　９～10
Ⅶ．入学資格審査　……　10～11
Ⅷ．国外志願者のオンライン受験審査について　……　11～12

○　各選抜共通事項
Ⅰ．障害等のある入学志願者との事前相談　……　13～14
Ⅱ．入学検定料の返還について　……　14
Ⅲ．大学院設置基準第１４条に定める教育方法の特例措置　……　15
Ⅳ．長期履修学生制度　……　15～16
Ⅴ．個人情報の利用　……　16
Ⅵ．三重大学大学院研究科に入学する私費外国人特待留学生制度募集要項　……　17
Ⅶ．不正行為の取扱いについて　……　18

【三重大学大学院工学研究科（博士前期課程）の概要】
Ⅰ．工学研究科組織図　……　19
Ⅱ．各専攻の紹介　……　20～24

○　三重大学大学院工学研究科案内図　……　25

三重大学大学院工学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー

○　このような人を育てます

工学研究科の博士前期課程では，地域・国際社会の発展と福祉に貢献することを目的とし，学際的・独創的・総合的視野を基盤にした専門的な工学の研究を通して，高度な専門技術者及び研究者としての基礎的能力を備えた人材を養成します。

○　このような人を求めます

①　高い志を持ち，高度な専門技術者や研究者を目指す意欲にあふれる人

②　工学研究に必要な基礎学力と専門分野における基礎知識を修得しており，高度な専門知識と技能を学ぶために必要な実践，応用及び創造の能力に富む人

③　国際的社会で活躍するためのグローバルな感性と俯瞰的視点に富む人

○　入学者選抜の基本方針

【学部・修士一貫コース特別選抜】

入学者の選抜は，志望専攻に関する分野のコースに在学し，志望専攻から予備選抜された学業成績優秀者を対象に提出書類の審査と口述試験及び面接の結果を総合して行います。

提出書類の審査及び口述試験にて，各専攻の専門分野で必要とする工学の基礎知識を測るとともに，面接にて研究意欲，適性を評価します。

【一般選抜】

入学者の選抜では，学力検査，提出書類の審査，面接（口述試験を含む）の結果を総合して合否判定を行います。

学力検査及び提出書類の審査にて，各専攻の専門分野で必要とする工学の基礎知識と英語能力を測るとともに，面接（口述試験を含む）にて研究意欲，適性を評価します。

【外国人留学生特別選抜】

入学者の選抜では，学力検査，提出書類の審査，面接（口述試験を含む）の結果を総合して合否判定を行います。

学力検査及び提出書類の審査にて，各専攻の専門分野で必要とする工学の基礎知識と英語能力を測るとともに，面接（口述試験を含む）にて研究意欲，適性を評価します。情報工学専攻の二次募集では，面接にて研究意欲，適性を評価し，口述試験にて工学の基礎知識を評価します。

【社会人特別選抜】

入学者の選抜では，提出書類の審査，口述試験及び面接の結果を総合して合否判定を行います。

提出書類の審査及び口述試験にて，各専攻の専門分野で必要とする工学の基礎知識と英語能力を測るとともに，面接にて，研究意欲，適性を評価します。

三重大学大学院工学研究科博士前期課程入学試験について

本研究科博士前期課程では，「大学等で学び得た知識や技能を本研究科でさらに発展・応用させ，より高度で専門的なものにしたいという強い意志を持つ者」，「企業や官公庁，研究機関等で積み上げた経験を生かし，大学院でさらに高度で専門的な研究を希望する者」，「技術先進国である日本で高度な知識や技術を学び，母国や世界に貢献したいという志を持つ者」といった多様な学生を積極的に受け入れ，研究・教育活動をより活性化させる目的で，「学部・修士一貫コース特別選抜」・「一般選抜」・「社会人特別選抜」・「外国人留学生特別選抜」の４種類の入学者選抜試験を実施しています。

選抜試験により出願資格・入学者選抜方法などが異なりますので，詳細については本募集要項をご確認ください。

令和９年度（令和９年４月入学）
三重大学大学院工学研究科博士前期課程
第 2 次 学 生 募 集 要 項

Ⅰ．募集専攻及び選抜別募集人員

専　攻　名	選抜別募集人員		
	一 般 選 抜	社　会　人 特 別 選 抜	外国人留学生 特 別 選 抜
機 械 工 学 専 攻	若干名	実施しない	若干名
電気電子工学専攻	実施しない	実施しない	実施しない
電子情報工学専攻	実施しない	実施しない	実施しない
応 用 化 学 専 攻	実施しない	実施しない	実施しない
建　築　学　専　攻	実施しない	実施しない	実施しない
情 報 工 学 専 攻	実施しない	実施しない	若干名
計	若干名	実施しない	若干名

＊入学後，博士課程５年一貫コースを選択することもできます。

Ⅱ．出　願　資　格

選抜試験により出願資格が異なりますので，出願を希望する選抜試験の出願資格をよくご確認ください。出願資格を満たしていない場合は，出願書類を提出しても受理されませんのでご注意ください。

○　一般選抜
下記の①～⑪のいずれかに該当する者

○　外国人留学生特別選抜
出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を取得又は取得見込みの外国人（日本国籍を有しない者）で，下記の①～⑦及び⑪のいずれかに該当する者

①　学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 83 条第１項に定める大学を卒業した者及び令和９年３月 31 日までに卒業見込みの者。

②　学校教育法第 104 条第７項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和９年３月 31 日までに授与される見込みの者

③　外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和９年３月 31 日までに修了見込みの者

④　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和９年３月 31 日までに修了見込みの者

⑤　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和９年３月 31 日までに修了見込みの者

⑥　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学

校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

⑦　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で，文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和９年３月 31 日までに修了見込みの者

⑧　文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第５号による）

〔旧大学令による大学を卒業した者及び文部科学省所管外の大学校等を卒業した者等〕

⑨　令和９年３月 31 日において，次のア～エのいずれかに該当する者であって，本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

ア　大学に３年以上在学した者

イ　外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者

ウ　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者

エ　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

⑩　学校教育法第 102 条第２項の規定により他の大学院に入学した者であって，その後に本研究科に入学を希望するもので，本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

⑪　本研究科において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和９年３月 31 日までに 22 歳に達するもの

「注」　１．出願資格⑨，⑩，⑪による出願を希望する者は，「Ⅶ．入学資格審査について」を参照してください。

２．外国人留学生特別選抜で合格し，入学しても，「留学」の在留資格を取得していない場合は，留学生（「留学」の在留資格を有する者）を対象とした各種奨学金や学生寮等への申請資格はありません。

Ⅲ．出　願　手　続

（１）　出願期間

選　抜　名	出　願　期　間
一般選抜 外国人留学生特別選抜	【①WEB システムへの出願期間】 令和８年１２月２２日(火) ～ 令和９年１月１２日(火) 【②郵送による出願期間】 令和８年１２月２２日(火) ～ 令和９年１月１２日(火) １７時まで（日本時間） ※期間内に WEB システムに出願（①）し，出力された書類及びその他の必要書類を郵送（②）する必要があります。 ※①及び②を<u>両方行うことで</u>出願は完了します。 ※①か②片方しか行わなかった場合は出願を受け付けません。

（２）　出願方法

① 入学志願者は，出願期間内に下記の WEB システムに必要項目を入力し，「マイページ」に表示される「出力書類」を印刷します。

大学院入試 WEB システム：https://graduate-app.mie-u.ac.jp/top

② 入学志願者は，出願期間内に「出力書類」及び下記の出願書類等を，郵送により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。（ただし，海外在住者については，（4） 海外からの郵送を伴う書類の提出について記載のとおり，電子メールによる出願を認めます。）

＜出願書類等＞

【全選抜共通】

書類等		摘要
ア	卒業(見込)証明書等	出身大学等の所定のもの（本学部卒業者及び在学者は不要です。） 高等専門学校専攻科在籍者等の出願資格②により出願する者は，学士学位取得証明書又は見込証明書を併せて提出してください。
イ	出身大学等の成績証明書	出身大学等の所定のもので，発行者において厳封したもの 高等専門学校専攻科在籍者及び修了者は，本科及び専攻科の成績証明書を提出してください。
ー	健康診断書	※出願期間中に外国に在住している者（日本国籍を有する者を含む）のみ提出する必要があります。健康診断書（本学所定の用紙）を提出してください。詳しくは下記アドレスで確認してください。 https://www.eng.mie-u.ac.jp/admission/graduate/ ※受験するために渡日しない場合であっても出願書類として健康診断書が必要です。
ー	三重大学私費外国人留学生特待生（入学料及び授業料免除型）	【本学所定の用紙】 三重大学では優秀な留学生を受け入れるため，入学料及び授業料を標準修業年限の間全額免除する三重大学独自の奨学生制度を 2019 年度から実施しています。詳しくは 17 ページを確認した上必要書類を提出してください。

【一般選抜志願者のみ提出】

書類等		摘要
ウ	志望理由書	【本研究科所定の用紙】
エ	TOEIC®公開テスト公式認定証	詳しくは「※英語の評定方法について」を確認してください。

【外国人留学生特別選抜志願者のみ提出】

書類等		摘要
オ	研究計画書	【本研究科所定の用紙】情報工学専攻のみ
カ	志望理由書	【本研究科所定の用紙】
キ	希望する指導教員の出願許可書	外国人留学生特別選抜の志願者は，出願前に希望する指導教員に連絡を取ると共に，当該教員から出願許可を得てください。出願書類には当該教員の押印（もしくはサイン）が必要です。海外在住等の理由により印を押した状態で出願することが困難である場合は，必ず出願前に工学研究科チーム学務担当までその旨を連絡してください。希望する指導教員から出願許可を得られたことが確認できた場合にのみ，指導教員の押印・サイン欄が空欄の状態であっても出願を受理します。ただし，希望する指導教員から出願許可を得られたことが確認できなかった場合は出願を受け付けません。

ク	日本語能力を確認できる書類	JASSO（日本学生支援機構）が実施する日本留学試験の成績や JEES（日本国際教育支援協会）が実施する日本語能力試験の成績，出身大学等が発行する日本語の教科に関する成績証明書等
ケ	国籍・在留資格を証明できる書類	旅券の写し及び住民票の写し又は住民票記載事項証明書 （日本国外在住者は住民票の写し，住民票記載事項証明書は不要です。）住民票の写し，住民票記載事項証明書は，マイナンバーの記載がないものを提出してください。
コ	国費外国人留学生であることを証明できる書類	出身大学等の所定のもの 日本政府（文部科学省）国費外国人留学生のみ提出してください。
サ	TOEIC®公開テスト公式認定証	詳しくは８ページ「※英語の評定方法について」を確認してください。

（３） 出願に関する注意事項

① 選抜試験により出願期間・出願書類が異なりますので注意してください。

② 郵送により出願する場合は，**「書留郵便」**としてください。なお，出願期間を過ぎて到着したものは受理いたしませんので，郵便事情を考慮のうえ，余裕を持って発送してください。

③ 持参により出願する場合は，９時から 17 時までを受付時間とします。（土曜・日曜・祝日を除く。）

④ 電話・ＦＡＸ・電子メール等による出願は受け付けません。（ただし，海外在住者については，「（４）海外からの郵送を伴う書類の提出について」に記載のとおり，電子メールによる出願を認めます。）

⑤ 出願書類の提出後の内容変更は認めません。また，受理した出願書類は返還しません。

⑥ いったん払い込んだ入学検定料については，次のア又はイに該当する場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。（ア又はイに該当する場合は，14 ページをご覧ください。）

ア 入学検定料を払い込んだが出願しなかった又は出願書類が受理されなかった。

イ 入学検定料を誤って二重に払い込んだ。

⑦ 事前の入学資格審査で提出した書類については，再提出する必要はありません。

⑧ 外国人留学生特別選抜の志願者で，現在，本学の在学者及び研究生等として在籍している者については，提出書類のうちク～コまでを省略することができます。

⑨ 三重大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「国立大学法人三重大学安全保障輸出管理規程」を定め，外国人留学生の受入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は，希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。また，外国人留学生を通じた技術・貨物の流出を防止する目的で，受け入れる外国人留学生に対して，入学時に誓約書の署名・提出をお願いしています。

【参考】安全保障輸出管理（三重大学）

https://www.crc.mie-u.ac.jp/rm/export/

（４） 海外からの郵送を伴う書類の提出について

海外からの郵便について遅延が生じる恐れがあるため，募集要項に記載するすべての選抜のあらゆる書類の提出において，海外からの郵送を伴う場合について，以下のとおりとします。

① 海外在住者が提出をするあらゆる書類について，電子ファイルによるメールでの提出を認める。ただし，証明書については，必ず pdf ファイルであることとし，画像ファイル（jpg，bmp，png 等）は受理しない。また，pdf 化する際にはその書類全体について行うこととする。

② 日本国内在住者が海外から書類を取り寄せる必要がある場合，提出時において，その書類について pdf ファイルによるメールでの提出又はコピーによる提出を認める。

③ 上記①②により電子ファイル又はコピーにより提出した書類については，後日，原本を提出すること。

Ⅳ．入学者選抜方法等

（1） 入学者選抜方法

選　抜　名	入学者選抜方法
一　般　選　抜	学力検査，提出書類の審査，面接（口述試験を含む）の結果を総合して行います。
外国人留学生特別選抜	機械工学専攻では，学力検査、提出書類の審査，面接の結果を総合して行います。 情報工学専攻では，学力検査（英語のみ），提出書類の審査，口述試験及び面接の結果を総合して行います。
外国人留学生特別選抜 （オンライン受験）	提出書類の審査，オンラインによる口述試験及び面接の結果を総合して行います。事前に申請・許可が必要です。詳細は「Ⅷ．国外志願者のオンライン受験審査について」を参照してください。

（2） 試験日程及び試験会場

選　抜　名	専攻名	選抜方法	日　　程
一　般　選　抜	機械工学専攻	学 力 検 査	令和９年１月21日(木)
		面　　接	令和９年１月22日(金)
外国人留学生特別選抜	機械工学専攻	学 力 検 査	令和９年１月21日(木)
		面　　接	令和９年１月22日(金)
	情報工学専攻	口述試験及び面接	令和９年１月22日(金)
外国人留学生特別選抜 （オンライン受験）	機械工学専攻 情報工学専攻	オンラインによる 口述試験及び面接	令和９年１月22日(金)

「注」 １．外国人留学生特別選抜（オンライン受験を除く）の「学力検査」は三重大学大学院工学研究科で行います。工学研究科の場所については，「三重大学大学院工学研究科案内図」を参照してください。なお，試験当日の集合時間・集合場所は，受験票を送付する際に通知します。

２．「オンラインによる口述試験及び面接」は Zoom もしくは Teams を用いて面接試験を実施しますので，使用可能な環境を準備してください。また，面接の際に連絡が可能なメールアドレスを出願書類に明記してください。なお，面接の詳細については，受験票を送付する際に通知します。

３．選抜試験により試験日程が異なりますので注意してください。

（3） 学力検査の試験科目について

各専攻における一般選抜及び外国人留学生特別選抜の学力検査の試験科目は下表のとおりです。
なお，英語の評価方法については，専攻ごとに異なりますので以下をご確認ください。

【一般選抜】

専攻名	試　験　科　目
機械工学専攻	英語（※），専門（機械力学，材料力学，流体力学，熱力学，制御工学）

(※)詳しくは下記「※英語の評定方法について」を必ず確認してください。

【外国人留学生特別選抜】

専攻名	試　験　科　目
機械工学専攻	英語（※），専門（機械力学，材料力学，流体力学，熱力学，制御工学）
情報工学専攻	英語(※)

(※)詳しくは下記「※英語の評定方法について」を必ず確認してください。

※英語の評定方法について

○機械工学専攻，情報工学専攻

TOEIC 公開テスト（TOEIC® Listening & Reading Test）について願書提出締切り日から起算して２年以内のスコアを有効とします。TOEIC のスコアがないものについては，出願は認めますが英語の評定は 0 点となります。

「注」　１．計算機及び数表の使用はできません。
　　２．各試験科目の実施時間については，次頁の＜学力検査試験時間について＞を確認してください。
　　３．学力検査において未受験科目がある場合には，合格対象者とはなりません。

「TOEIC に関して」
　１．専攻によって TOEIC の取り扱いは異なりますので，募集要項にて確認してください。
　２．出願書類の TOEIC®公開テスト公式認定証は，QR コードが印刷されたデジタル公式認定証をご提出ください。（QR コードが印刷されているデジタル公式認定証が発行されない国で受験した場合は、公式認定証（Official Score Certificate）（原本）を提出すること）
　３．団体特別受験制度（IP テスト，カレッジ TOEIC），TOEIC スピーキングテスト／ライティングテスト，TOEIC Bridge のスコアは評価の対象となりません。

（４）　配点

【一般選抜】

専攻名	学力検査	面接（口述試験を含む）	書類
機械工学専攻	英語：200 点，専門：800 点	100 点	100 点

面接の評価が一定の水準に満たない場合，学力検査，書類審査の評価に関わらず不合格となることがあります。

【外国人留学生特別選抜】

専攻名	学力検査	面接（口述試験を含む）	書類
機械工学専攻	英語：200 点，専門：800 点	100 点	100 点
情報工学専攻	英語(※)：100 点	100 点	100 点

機械工学専攻は，面接の評価が一定の水準に満たない場合，学力検査，書類審査の評価に関わらず不合格となることがあります。
情報工学専攻は，書類審査、学力検査、面接のいずれかの評価が一定水準に満たない場合、他の評価に関わらず不合格となることがあります。

＜学力検査試験時間について＞

【一般選抜】

専 攻 名	試　験　時　間　割 10:00　11:00　12:00　13:00　14:00　15:00　16:00
機械工学 専　　攻	専門 9:00～12:00

【外国人留学生特別選抜】

専 攻 名	試　験　時　間　割 10:00　11:00　12:00　13:00　14:00　15:00　16:00
機械工学 専　　攻	専門（５科目必修） 9:00～12:00

（５）　出願資格⑨（Ｐ４）を有する者について

「一般選抜」において，入学資格審査の際に出願資格⑨（Ｐ４）を有する者と判断された者については学力検査を免除します。学力検査免除者には，受験票を送付する際に通知します。

学力検査を免除された者は，令和９年１月 22 日（金）の面接より受験してください。

Ⅴ．合格者の発表

（１）　発表日

選　抜　名	合格発表日
一　　般　　選　　抜	令和９年２月 12 日(金)　10 時頃
外国人留学生特別選抜	

（２）　発表方法

三重大学大学院工学研究科・工学部ウェブサイトに「合格者受験番号一覧」を掲載するとともに，合格者に合格通知書を送付します。

三重大学大学院工学研究科・工学部ウェブサイト【https://www.eng.mie-u.ac.jp/】
掲載期間：合格発表日から１週間程度

（３）　合格発表に関する注意事項

①　電話等による合否の照会には一切応じられません。

②　ウェブサイトに掲載する「合格者受験番号一覧」は，本学が情報提供の一環として行うものであり，公式の合格発表は郵送による通知で行います。

Ⅵ．入学手続

（１）　入学手続期間：令和９年３月下旬（予定）

（２）　入学料及び授業料

①　入学料：282,000 円（予定額）

②　授業料：前期分　267,900 円（予定額）
　　（年　額　535,800 円)(予定額)

「注」 １．入学手続の詳細は，令和９年３月上旬に送付する「入学手続要項」でお知らせします。
２．入学料及び授業料は予定額ですので，改定されることがあります。
３．在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定された新授業料が適用されます。
４．入学料及び授業料の免除，徴収猶予を希望する者は，入学料，授業料を納入する前に申し出てください。（詳細は入学手続要項で確認するか，学務部学生支援チーム授業料免除担当に問い合わせてください。）
５．本研究科では，職業等に従事しながら教育研究活動に取り組む者を対象とした「長期履修学生制度」を設けています。本制度については，15 ページを参照してください。

（３）健康診断書の提出について 出願期間中に日本国外に在住する者でオンライン受験により渡日することなく受験し，入学するために新たに渡日する者についても健康診断書（本学所定の用紙）を提出してください。 詳しくは下記アドレスで確認してください。
https://www.eng.mie-u.ac.jp/admission/graduate/

Ⅶ．入学資格審査【出願資格⑨，⑩，⑪により出願する者】

出願資格⑨，⑩，⑪による出願を希望する者は，以下の手続により事前審査を受けてください。

（１） 申請期間

令和８年 10 月 19 日(月）から 10 月 30 日(金）17 時まで（必着）

（２） 申請方法
申請期間内に以下の＜入学資格審査申請書類等＞を，郵送又は持参により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。（ただし，海外在住者については，「Ⅲ．出願手続 （４） 海外からの郵送を伴う書類の提出について」に記載のとおり，電子メールによる申請を認めます。）

＜入学資格審査申請書類等＞

書類等		出願資格	摘要
ア	入学資格審査申請書	⑨，⑩，⑪	【本研究科所定の用紙】
イ	履歴書	⑨，⑩，⑪	【本研究科所定の用紙】
ウ	在学大学等の在学証明書	⑨，⑩	出身大学(学校)所定のもの （本学工学部在学者は不要です。）
エ	在学大学等の成績証明書	⑨，⑩	発行者において厳封したもの
オ	在学大学等の教育課程表(写し)	⑨，⑩	履修案内や授業要目に記載されている，授業科目表及び卒業(修了)要件のコピー （本学工学部在学者は不要です。）
カ	最終出身学校の卒業(修了)証明書	⑪	出身学校所定のもの
キ	最終出身学校等の成績証明書	⑪	発行者において厳封したもの
ク	研究等業績調書	⑪	【本研究科所定の用紙】 研究歴，業績（公表論文，報告書，活動記録，取得資格等）を記入してください。
ケ	研究歴を証明する書類	⑪	研究等業績調書に記載の研究歴，業績（公表論文，報告書，活動記録，取得資格等）に関する資料

コ	志　望　理　由　書	⑨，⑩，⑪	【本研究科所定の用紙】

（3） 申請に関する注意事項

① 【本研究科所定の用紙】は，事前に三重大学工学研究科チーム学務担当に請求してください。

② 郵送により申請する場合は，**「書留郵便」**としてください。なお，申請期間を過ぎて到着したものは受理いたしませんので，郵便事情を考慮のうえ，余裕を持って発送してください。

③ 持参により申請する場合は，９時から 17 時までを受付時間とします。（土曜・日曜・祝日を除く）

④ 電話・ＦＡＸ・電子メール等による申請は受け付けません。（ただし，海外在住者については，「Ⅲ．出願手続 （4） 海外からの郵送を伴う書類の提出について」に記載のとおり，電子メールによる申請を認めます。）

⑤ 申請書類の提出後の内容変更は認めません。

（4） 入学資格審査の方法及び審査結果の通知

入学資格審査は提出された書類により行い，審査結果は令和８年 11 月 16 日（月）以降に本人宛に速達郵便にて通知します。また，入学資格が認定された者には「入学資格認定書」を交付します。

（5） 入学資格認定後の出願手続について

① 入学資格を認定された者は，結果通知とあわせて送付する案内と，「Ⅲ．出願手続」に基づき，出願の手続を行ってください。

② 外国人留学生特別選抜の受験を希望する場合は，各選抜試験で定める要件を満たしていないと，出願書類を提出しても受理されません。

③ 出願書類のうち入学資格審査申請の際に提出した書類については，再提出の必要はありません。

④ 出願資格⑪について，入学資格を認定されたが諸般の事情により当該年度に受験できなかった，受験したが不合格だったなどの場合は，次年度に実施の入学試験に限り，審査結果を有効とします。

（6） 最終成績審査

出願資格⑨，⑩により受験し合格した者に対し，令和９年３月に出身大学等の成績証明書により最終成績審査を行います。

審査の詳細については，合格通知書を送付する際に改めて通知します。

（7） 飛び入学に関する注意事項

出願資格⑨により本研究科に入学した者の学部学生としての学籍上の身分は退学となりますので，種々の国家試験，資格試験で大学の学部を卒業することを受験資格としているものについては，受験資格がないことになります。

Ⅷ．国外志願者のオンライン受験審査について

日本国外に在住する者でオンライン受験を申請し，審査の結果，学力等が志望する専攻の基準を十分に満たしていると評価された者に限りオンラインによる受験が可能です。「Ⅲ．出願手続」の前に下記の申請をしてください。

（1） 申請期間

令和８年 10 月 19 日(月) から 10 月 30 日(金) 17 時(日本時間)まで （必着）

（2） 申請方法

本学研究科 web サイト（https://www.eng.mie-u.ac.jp/admission/graduate/）より以下の＜オンライン受験審査申請書類等＞をダウンロードして，三重大学工学研究科チーム学務担当へ関係書類と共に EMS 等受付番号の控えが発行される方法にて送付してください。（ただし，「Ⅲ．出願手続 （4） 海外からの郵送を伴う書類の提出について」に記載のとおり，電子メールによる申請を認めます。）

なお，志望する専攻が必要と認めた場合，電子メールやZoom（インターネットコミュニケーションソフトウエア）やTeams等による面談を行う場合があります。

＜申請先＞
三重大学工学研究科チーム学務担当
〒514-8507　三重県津市栗真町屋町１５７７
問い合わせ先　Email：eng-gakumu@eng.mie-u.ac.jp

＜オンライン受験審査申請書類等＞

書類等		摘要
ア	オンライン受験審査申請書	【本研究科所定の用紙】
イ	履歴書	【本研究科所定の用紙】
ウ	卒業（見込）証明書等	出身大学等の所定のもの（本学部卒業者及び在学者は不要です。） ※外国の大学等を卒業した者は，英語で作成されたもの又は英語による訳文を添付してください。
エ	出身大学等の成績証明書	出身大学等の所定のもので，発行者において厳封したもの ※外国の大学等を卒業した者は，英語で作成されたもの又は英語による訳文を添付してください。
オ	研究計画書	【本研究科所定の用紙】

（３）　申請に関する注意事項
①【本研究科所定の用紙】と記載されていない書類は，各自で用意してください。
②　申請方法は郵送のみとし，申請期間を過ぎて到着したものは受理いたしません。（ただし，「Ⅲ．出願手続　（４）　海外からの郵送を伴う書類の提出について」に記載のとおり，電子メールによる申請を認めます。）
③　持参・電話等による申請は受け付けません。
④　申請書類の提出後の内容変更は認めません。
⑤　出願資格⑨，⑩，⑪による出願を希望する場合にはオンライン受験審査と入学資格審査を同時に申請する必要があります。
⑥　入学資格審査を同時に申請する場合には「成績証明書」等，入学資格審査に提出する書類は重複して提出する必要はありません。

（４）　審査結果について
申請書類を精査し，令和８年11月16日(月)　10時(日本時間)以降に電子メール及びEMSにより結果を通知いたします。

（５）　オンライン受験認定後の出願手続について
①　オンライン受験が認められた場合には，受験の際に来日する必要はありません。結果通知とともに行う案内と，「Ⅲ．出願手続」に基づき，出願の手続を行ってください。
②「オンライン受験審査」申請が認定されたが諸般の事情により当該年度に受験できなかった，受験したが不合格だった場合は，当該年度に実施の入学試験に限り，「オンライン受験審査」の審査結果を有効とします。

各 選 抜 共 通 事 項

Ⅰ．障害等のある入学志願者との事前相談

障害等がある者に対しては，受験及び修学上の配慮が必要となる場合がありますので，出願に先立ち，必ず次により相談してください。

なお，相談の内容によっては，対応に時間を要することもありますので，できるだけ早い時期に相談してください。

また，相談の時期後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害を有することとなった場合は，その時点で速やかに相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき，受験及び修学に関してより良い方法やあり方を模索するためのもので，障害のある方の受験や修学を制限するものではありません。

事前相談の対象となる者【参考】

区　　分	対象となる者
①　視覚障害	・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満の者のうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障害が高度な者のうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
②　聴覚障害	・両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③　肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外で肢体不自由者に関する配慮を必要とする者
④　病弱	・慢性の呼吸器疾患，心臓疾患，腎臓疾患，消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者，又はこれに準ずる者
⑤　発達障害	・学習障害，注意欠陥多動性障害，自閉症，アスペルガー症候群，広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
⑥　その他	・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

「注」　日常生活においてごく普通に使用されている補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合も，試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので，事前に相談してください。

（１）　受験上の配慮の例

・試験場への乗用車の入構 ・車椅子の使用 ・補聴器の使用 ・連絡事項の文書による伝達	・試験室を別室に設定 ・座席を最前列/最後列/出入口近く等に設定 ・試験室を障害者用トイレ近くに設定 ・試験時間の延長

（２）　相談の方法

電話又は FAX などによりあらかじめ工学研究科チーム学務担当に連絡した上で，次の内容を記載した相談書を工学研究科チーム学務担当に郵送などの方法で提出してください。

なお，相談の内容によっては入学志願者又は出身大学関係者等との面談を行うことがあります。

① 入学志願者の氏名，性別，生年月日，住所，連絡先の電話番号

② 出身大学等名・卒業（見込み）年月日

③ 志望専攻名
④ 障害の種類・程度（医師の診断書又は身体障害者手帳等の写しを提出してください。）
⑤ 受験及び修学上希望する具体的配慮
⑥ 大学等における生活状況等（主として授業関係）
⑦ その他参考となる事項

（３） 相談の時期
令和８年 10 月 19 日（月）から 10 月 30 日（金）17 時（日本時間）まで（土曜・日曜・祝日を除く）

（４） 問い合わせ先
三重大学工学研究科チーム学務担当
〒５１４－８５０７　津市栗真町屋町１５７７　　ＴＥＬ：０５９－２３１－９４６９
ＦＡＸ：０５９－２３１－９４７１

三重大学の取組み
三重大学では，「三重大学における障害のある学生の支援に関する基本方針」を定めており、各学部および学内関連組織と連携を図りながら，学生支援に取り組んでいます。詳細は以下の web サイトをご参照ください。
URL: https://www.mie-u.ac.jp/support/education/shogai-shien-policy.html

Ⅱ．入学検定料の返還について

いったん払い込まれた入学検定料は原則として返還されませんが，次のア又はイに該当する場合は，払い込み者本人からの請求により，払い込み済みの入学検定料を返還します。

（１） 入学検定料が返還できる場合
ア．入学検定料を払い込んだが出願しなかった又は出願書類が受理されなかった場合
イ．入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

（２） 返還請求方法について
返還請求の方法については，以下の web サイトをご参照ください。
https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/folder/

なお，外国送金の場合は事前に以下までお問い合わせください。
三重大学財務部財務企画チーム収入担当
TEL：059-231-9028 （平日 9-17 時）
E-mail：syunyu@ab.mie-u.ac.jp

Ⅲ．大学院設置基準第１４条に定める教育方法の特例措置

近年，科学技術の進歩に伴い，大学院における社会人技術者，教育者，研究者の再教育への要請が高まってきています。しかし，通常の教育方法のみで大学教育を実施した場合，社会人は最低２年間その勤務を離れて修学する必要があるため，大学教育を受ける機会が制約されています。

このため，大学院設置基準第 14 条では，「大学院の課程においては，教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」と規定され，社会人技術者，教育者，研究者の修学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

これを踏まえ，本研究科では，大学院の履修を希望する社会人技術者，教育者，研究者等を積極的に受け入れるため，概ね次のような措置を行っています。

１．通常の授業時間帯のほかに，夜間は平日の第 11・12 時限（18：00～19：30）まで，休日は土曜日・日曜日の第１・２時限（８：50～10：20）から第７・８時限（14：40～16：10）の間に授業を受けることができます。また，必要に応じて長期休暇を利用して授業を受けることもできます。

２．上記による場合は，指導を希望する教員と十分相談の上，実施可能な履修計画を立ててください。

Ⅳ．長期履修学生制度

本研究科博士前期課程は標準修業年限が２年ですが，職業等に従事しながら研究に取り組むには時間的制約など困難も多く，修了までに２年以上要することもあり，経済的負担が大きくなります。

そこで本研究科では，職業等に従事している者でも個人の事情に応じて柔軟に標準修業年限（２年）を超えて履修し，学位等を取得できるよう，**「長期履修学生制度」**を設けています。

（１） 長期履修の期間

長期履修学生として認められる期間は最大４年で，それぞれの年（学期）に支払う授業料は，標準修業年限の２年間に支払うべき授業料の総額を，長期履修学生として認められた修業年限で除した額となります。（下記【授業料の納入例】参照）

【授業料の納入例】

① 標準修業年限（２年）

１年目 （535,800 円）	２年目 （535,800 円）

＜授業料総額　1,071,600 円＞

② ３年の長期履修学生として認められた場合

１年目 （357,200 円）	２年目 （357,200 円）	３年目 （357,200 円）

＜授業料総額　1,071,600 円＞

1,071,600 円÷３年＝357,200 円（１年間の授業料）

③ ４年の長期履修学生として認められた場合

１年目 （267,900 円）	２年目 （267,900 円）	３年目 （267,900 円）	４年目 （267,900 円）

＜授業料総額　1,071,600 円＞

1,071,600 円÷４年＝267,900 円（１年間の授業料）

「注」　【授業料の納入例】に記載されている授業料額は，予定額（年額 535,800 円）を基にしたもので，授業料の改定が行われた場合には，改定された新授業料が適用されます。

（２）　申請方法

長期履修を希望する場合は，申請期間内に「長期履修申請書（本研究科所定の用紙）」及び「在職証明書等（在職証明書又はそれに準ずる書類）」を，郵送又は持参により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。（土曜・日曜・祝日を除く）

申請期間：令和８年 12 月 22 日(火）から 令和９年１月 12 日(火）17 時まで（必着）

（３）　注意事項

①　長期履修の申請要件や長期履修申請書（本研究科所定の用紙）の入手方法については，事前に三重大学工学研究科チーム学務担当にお問い合わせください。

②　長期履修を希望する場合は，必ず所定の手続により申請をしてください。入学試験の出願書類に長期履修を希望する旨の記入があっても，長期履修は認められません。

Ｖ．個人情報の利用

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）が，平成 17 年４月１日から施行されました。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については，入学者選抜に係る業務のほか，次のとおりです。

（１）　合格者の住所・氏名等を入学手続に係わる業務で利用します。

（２）　入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に関わる業務並びに健康診断等の保健管理に関わる業務で利用します。

（３）　入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。

（４）　入学者選抜で取得した成績等の個人情報を，入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。

（５）　個人が特定できない形で，統計処理等の付随する業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

※　本学が取得した個人情報は，法令に規定されている場合を除き，出願者の同意を得ることなく，他の目的で利用または第三者に提供することはありません。

Ⅵ．三重大学大学院研究科に入学する私費外国人特待留学生制度募集要項

Ⅰ 概要

三重大学では，優秀な留学生を受け入れるため，入学料及び授業料を標準修業年限の間全額免除する三重大学独自の奨学制度を設けております。

令和９年度の採用予定人員は，全学で６名です。（工学研究科は１名）

Ⅱ 応募資格

以下の（１）～（４）すべてを満たすこと。

（１）三重大学大学院工学研究科の入学試験に合格し，入学予定の者。

（２）大学院在学中は，私費外国人留学生（在留資格は留学ビザ）として在学する者
なお，国費（文部科学省）留学生及び外国政府派遣留学生は対象ではない。

（３）学業，人物ともに優れており，心身ともに健康であること

（４）国際交流センターから依頼する三重大学が実施する各種行事や調査等に参加，協力すること

※新たに海外から留学する者のほか，申請時に本学に在籍（正規生，非正規生であるかを問わず）している者も対象とします。

Ⅲ 申請方法，申請締め切り

申請には推薦書が必要となるため，受入予定教員又は学務担当に問い合わせてください。

Ⅳ 奨学金と奨学期間

奨学金の種類：入学料及び授業料免除型

（１）奨学金額　博士後期課程　：入学料　282,000 円（予定額）を全額免除
授業料　520,800 円（予定額）を全額免除
博士前期課程　：入学料　282,000 円（予定額）を全額免除
授業料　535,800 円（予定額）を全額免除

（２）奨学（免除）期間：標準修業年限

Ⅴ 選考方法及び選考結果の発表について

推薦書，成績証明書，研究等業績調書及び研究計画書により選考します。

採否については，指導予定教員に通知します。

Ⅵ 留意事項

当該特待生に採用後，虚偽の申請が判明したとき，又は特待留学生としてふさわしくない行為があった場合には，特待生としての身分を取消されることがあります。

Ⅶ 規程

本制度は，「三重大学大学院研究科に入学する私費外国人特待留学生制度に関する規程」に基づきます。

Ⅷ 本件問い合わせ先

三重大学工学研究科チーム学務担当
TEL：059-231-9469
FAX：059-231-9471
E-mail：eng-gakumu@eng.mie-u.ac.jp

Ⅶ．不正行為の取扱いについて

(1)　次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室を指示され，それ以後の受験はできなくなります。また，受験したすべての試験の成績を無効とします。その他状況によっては警察に被害届を提出する場合があります。

① 出願書類に虚偽の情報を入力したり，受験写真票や受験票等に本人ではない写真を使用したり，解答用紙に虚偽の記入をすること。
② カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど）をすること。
③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。
④ 配付された問題用紙等を，その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
⑥ 解答開始の指示の前に，問題冊子等を開いたり解答を始めたりすること。
⑦ 試験時間中に，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，電子辞書，及びＩＣレコーダー等の電子機器類を使用すること。
⑧ 試験時間中に，コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具を使用すること。
⑨ 解答終了の指示に従わず，筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。

(2)　上記（1）以外にも，次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず，不正行為と認定された場合の取扱いは，上記（1）と同様です。

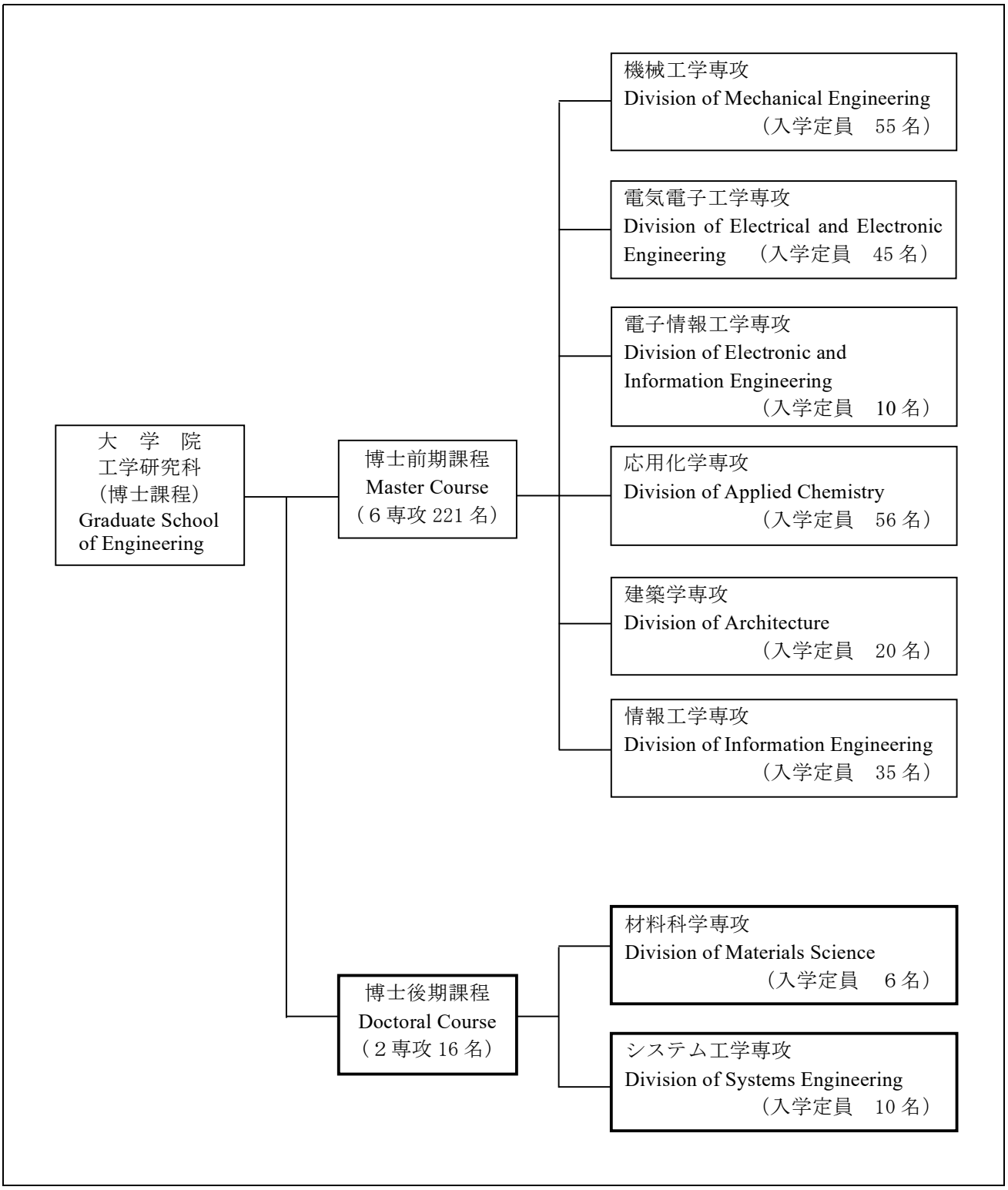
① 試験時間中に，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末等の電子機器類やコンパス，電卓等の補助具，その他参考書等をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていたりすること。
② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすなど，試験の進行に影響を与えること。
③ 試験に関することについて，自身や他の受験者を利するような申し出をすること。
④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
⑥ その他，試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

【三重大学大学院工学研究科（博士前期課程）の概要】

三重大学大学院工学研究科は，修業年限２年で修了者に「修士」の学位が授与される博士前期課程と，修業年限３年で修了者に「博士」の学位が授与される博士後期課程から成り，博士前期課程には，機械工学専攻，電気電子工学専攻，電子情報工学専攻，応用化学専攻，建築学専攻，情報工学専攻の６専攻があります。

各専攻の教育研究分野，担当教員等については，「Ⅱ．各専攻紹介」をご覧ください。

Ⅰ．工学研究科組織図（令和９年度４月１日時点予定）



Ⅱ．各専攻の紹介（令和９年度４月１日予定）

【機械工学専攻】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
ロボティクス・メカトロニクス	知能ロボティクス	教　授　矢野　賢一 助　教　松井　博和	ロボット工学，制御工学，人工知能，情報処理，電子機械学，ヒューマンインターフェース，医療・福祉工学
	人間支援システム	教　授　池浦　良淳 准教授　早川　聡一郎	機械力学，人間－機械系，ハイブリッドダイナミカルシステム，制御工学，人間工学，ロボット工学
機能創成プロセス	材料機能設計	教　授　川上　博士 助　教　尾崎　仁志	材料の機械的及び化学的諸性質，並びに各種材料の溶接に関する基礎と応用
	集積加工システム	准教授　中西　栄徳	高機能化加工，環境適合加工，難加工材加工，創質プロセッシング，通電加熱応用材料加工法の開発
	ナノ加工計測	准教授　松井　正仁	フラクタル解析，バイオプロセッシング，ノントラディショナル加工，塑性加工解析
機械物理学	生体システム工学	教　授　稲葉　忠司 准教授　吉川　高正 助　教　馬場　創太郎	物質及び構造物の強さ・変形及び安定性，ＣＡＥ，バイオメカニクス
	物理学	准教授　鳥飼　正志	多体系の物理学，自己組織化，相転移，単純液体，液晶
	量子応用工学	教　授　小竹　茂夫	量子アルゴリズムの制御・振動への応用，力学物性，結晶成長，固体電子論，薄膜作成，物性計測
環境エネルギー	エネルギー環境工学	教　授　前田　太佳夫 准教授　鎌田　泰成	流体力学，自然エネルギー利用技術（風力等），エネルギー環境機械及び装置
	熱エネルギーシステム	（教 授　丸山　直樹） 准教授　西村　顕	熱工学，伝熱工学，乱流熱・物質輸送，エネルギー変換工学，数値シミュレーション，レーザー計測，環境工学，省エネルギー技術，燃料電池，熱交換器
	流動制御	教　授　辻本　公一 准教授　安藤　俊剛 助　教　髙橋　護	流体熱工学，混相流工学，環境・エネルギー工学，流体・熱・物質輸送現象，実験と数値シミュレーション

【 電気電子工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
電気システム工学	電機システム	教　授　駒田　　諭 助　教　小山　昌人	モーションコントロール（福祉ロボット・人間協働ロボットなど，電動機，電力変換器および各種制御機器に関する制御理論と応用
	制御システム	教　授　弓場井　一裕 准教授　矢代　大祐	制御理論（データ駆動型制御設計，ロバスト制御），モーションコントロール（医療ロボット，ハプティクス，ネットワーク化制御など）
	エネルギーシステム	准教授　山村　直紀	自然エネルギー利用発電システム，省エネルギー電力制御システム，高効率電力変換システム
	誘電・絶縁システム	准教授　青木　裕介	金属接続，導通現象，高分子材料，絶縁特性，コネクタ，複合体材料，有機エレクトロニクス，フォトニクス，有機・無機ハイブリッド材料の機能化
	磁気システム	准教授　藤原　裕司	磁性材料工学，軟磁性薄膜，磁性微粒子，磁気センサ
情報通信・フォトニクス	通信システム工学	教　授　森　香津夫 准教授　羽多野　裕之 助　教　眞田　耕輔	移動体通信，衛星通信，無線ＬＡＮ，高度交通システム，アドホックネットワーク
	高周波 メタフォトニクス	教　授　村田　博司 准教授　松井　龍之介 助　教　大田垣　祐衣	光ファイバ通信，マイクロ波フォトニクス，光導波路デバイス，非線形工学デバイス
	知能情報システム	教　授　高瀬　治彦	ソフトウェア工学，教育支援システム，人工知能
	画像情報処理	教　授　川中　普晴 助　教　北島　巧海	画像処理，情報メディア（文書画像，映像）理解，生体信号処理，機械学習，教育支援システム
量子・光ナノエレクトロニクス	スピントロニクス	教　授　中村　浩次	量子応用，材料設計，物理計測，量子計算，計算機シミュレーション
	ナノオプティクス	准教授　元垣内　敦司	表面プラズモン共鳴，メタ表面に関する理論的研究と光デバイス応用
	ナノエレクトロニクス	教　授　佐藤　英樹	新規ナノ材料生成プロセス開発，ナノ材料の電子デバイス応用
	量子ビーム テクノロジー	准教授　永井　滋一	新規ナノ材料を原子レベルで ”観る”，”創る”，”測る” ための高輝度量子（電子，イオン，光子）ビーム源の開発
	量子回路 テクノロジー	准教授　内海　裕洋	物性基礎論，メゾ・ナノスコピック系の物理，量子コンピューター，電子相関，固体電子論，数理科学

【 電子情報工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
半導体工学	半導体デバイス	教　授　三宅　秀人 教　授　中村　孝夫 教　授　姚　　永昭 教　授　新田　州吾 准教授　正直　花奈子 助　教　赤池　良太	半導体デバイス，光デバイス，電子デバイス，窒化物半導体，ワイドギャップ半導体，深紫外LED，半導体レーザ，多面光ドットアレイ，半導体工学，真空工学
	半導体計算科学	教　授　秋山　　亨 准教授　河村　貴宏	半導体表面構造，量子ドット，ナノ構造，第一原理計算，量子論的アプローチ，計算科学，ぬれ層表面，ナノワイヤ，シリコンナノ構造
デジタル工学	知能情報システム	准教授　木下　史也 助　教　安永　弘樹	光センシング，光刺激，マイクロ LED，窒化物半導体，GaN，光遺伝学

【　応用化学専攻　】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
物理化学	ナノ材料物理化学	教　授　伊藤　彰浩 准教授　小塩　　明	機能性有機分子材料の電子状態解析ならびにアーク放電，化学気相成長法などによるナノカーボンやナノシリコン物質等の合成
	有機素材化学	教　授　鳥飼　直也 准教授　藤井　義久	高分子物性（界面・コロイド化学，薄膜物性，ソフト複合材料）
	量子ナノ機能化学	教　授　八尾　浩史 准教授　三谷　昌輝 助　教　大西　　拓	量子化学計算に基づく化学反応や分子物性などの理論解析
無機分析化学	無機素材化学	（教 授　橋本　忠範）	環境とエネルギーの調和，クリーンエネルギー，環境触媒の開発，ニューガラス，ニューセラミックスの開発
	エネルギー変換化学	教　授　今西　誠之 准教授　森　　大輔 助　教　田港　　聡	応用電気化学，固体化学，エネルギー変換化学及び無機機能材料の開発
	分析環境化学	（教　授　金子　聡） 准教授　勝又　英之 助　教　榎木　友哉	分析化学（極微量成分の分離・分析法の開発）と環境化学（炭酸ガスの還元・固定化，有害化合物の無害化・無毒化）

有機化学	有機合成化学	教　授　八谷　　巌 准教授　溝田　　功	新しい有機合成反応の精密設計とファインケミカルズ合成への応用
	有機機能化学	教　授　岡﨑　隆男	新しい機能性有機分子の設計と合成，有機反応中間体の発生と反応
	高分子合成化学	教　授　宇野　貴浩 助　教 Hazlina Binti Junoh	高分子の分子設計と構造制御及び機能性高分子材料の開発
生命化学	生体材料化学	教　授　宮本　啓一 助　教　晝河　政希	生体高分子（蛋白質化学，多糖の化学など），生体ゲル及び医療用高機能材料の開発
	分子生物工学	教　授　湊元　幹太 准教授　鈴木　勇輝	分子生物工学（膜工学，細胞工学，遺伝子工学，核酸工学，抗体工学に基づく機能性タンパク質及び生体システム創成技術の開発）

【 建築学専攻 】

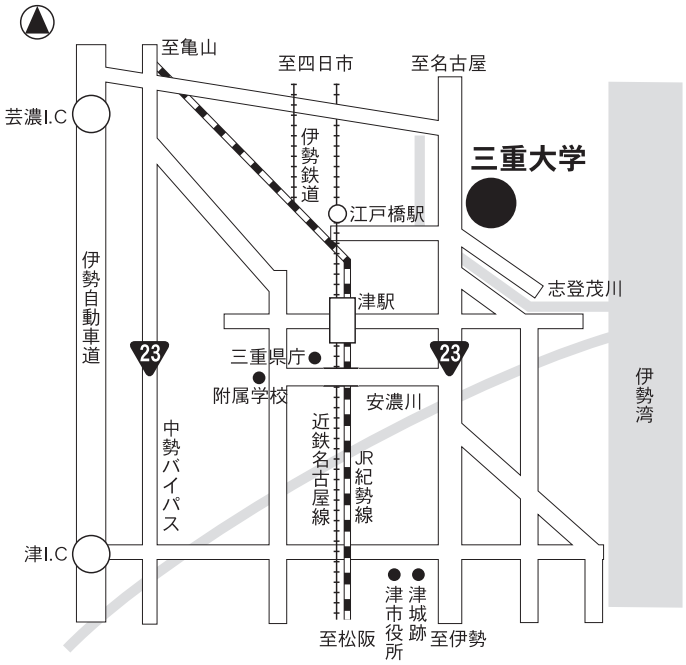
講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
建築学	建築計画系	教　授　富岡　義人 教　授　三宅　　諭 准教授　大月　　淳 准教授　近藤　早映 准教授　大井　隆弘	建築計画学（施設計画，施設維持管理など），建築意匠学（設計方法論，建築形態論，構法計画など），建築史学（建築史，保存活用計画など），地域計画学（都市計画，公共空間計画，景観設計など）
	建築環境設備系	教　授　永井　久也 教　授　寺島　貴根 准教授　北野　博亮	空調設備計画，省エネルギー計画，都市環境，建築音響，建築熱環境解析，自然・未利用エネルギー
	建築構造系	教　授　三田　紀行 准教授　田端　千夏子 准教授　佐藤　公亮	建築各種構造（RC 造，鋼構造，木質構造など），建築材料，建築施工，建築構法，建築力学
	地域防災系	教　授　川口　　淳 准 教 授　Ghezelloo Yegane 助　教　孫　　文可	地域防災，都市防災，災害復興，耐震技術，災害情報

【 情報工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
コンピュータサイエンス	コンピュータ アーキテクチャ	教　授　高木　一義 講　師　大野　和彦	集積システム設計，組込みシステム，設計自動化，並列プログラミング，プログラム最適化，ソフトウェア開発支援
	コンピュータ ソフトウェア	教　授　河内　亮周 講　師　山田　俊行 助　教　仙田　涼摩	理論計算機科学，暗号理論，量子情報科学，ソフトウェア基礎論，プログラムの解析・検証，アルゴリズム
情報ネットワーク工学	情報通信システム	教　授　真鍋　哲也 助　教 安藤 ダニエル 明	光アクセスネットワーク，センサ情報伝送システム，光経路切替システム，移動無線通信の信号処理，非地上系ネットワークの信号処理
知能システム工学	スマートシステム	教　授　福井　昌則 准教授　森本　尚之 助　教　徳山　喜一	IoT システム，エネルギーマネジメント，ディジタル信号処理，音・振動の計測・評価
	データサイエンス	教　授　松岡　真如 講　師　奥原　　俊	リモートセンシング，地理空間情報解析，三次元データ処理，マルチエージェントシステム，人工知能，意思決定・合意形成
人間情報学	ヒューマン コンピュータ インタラクション	教　授　若林　哲史 准教授　盛田　健人	文字・パターン認識，医用画像の処理・解析，ヒューマン・インタフェース
	知能化ライフ サポート	教　授　林田　祐樹 (教 授　湯田　恵美) 准教授　小川　将樹 助　教　杉浦　友紀	脳神経機能補綴，生理情報計測，ニューロコンピューティング，生体信号処理，生体ビッグデータ解析，医療情報学，ＸＲテクノロジー，視覚心理学，生体情報計測，細胞組織制御システム，埋植用組込み電子デバイス，医工向け集積システム

「注」　１．記載内容は，令和９年４月１日予定のものです。
　　２．（　）は兼務担当教員を示します。

三重大学大学院工学研究科案内図



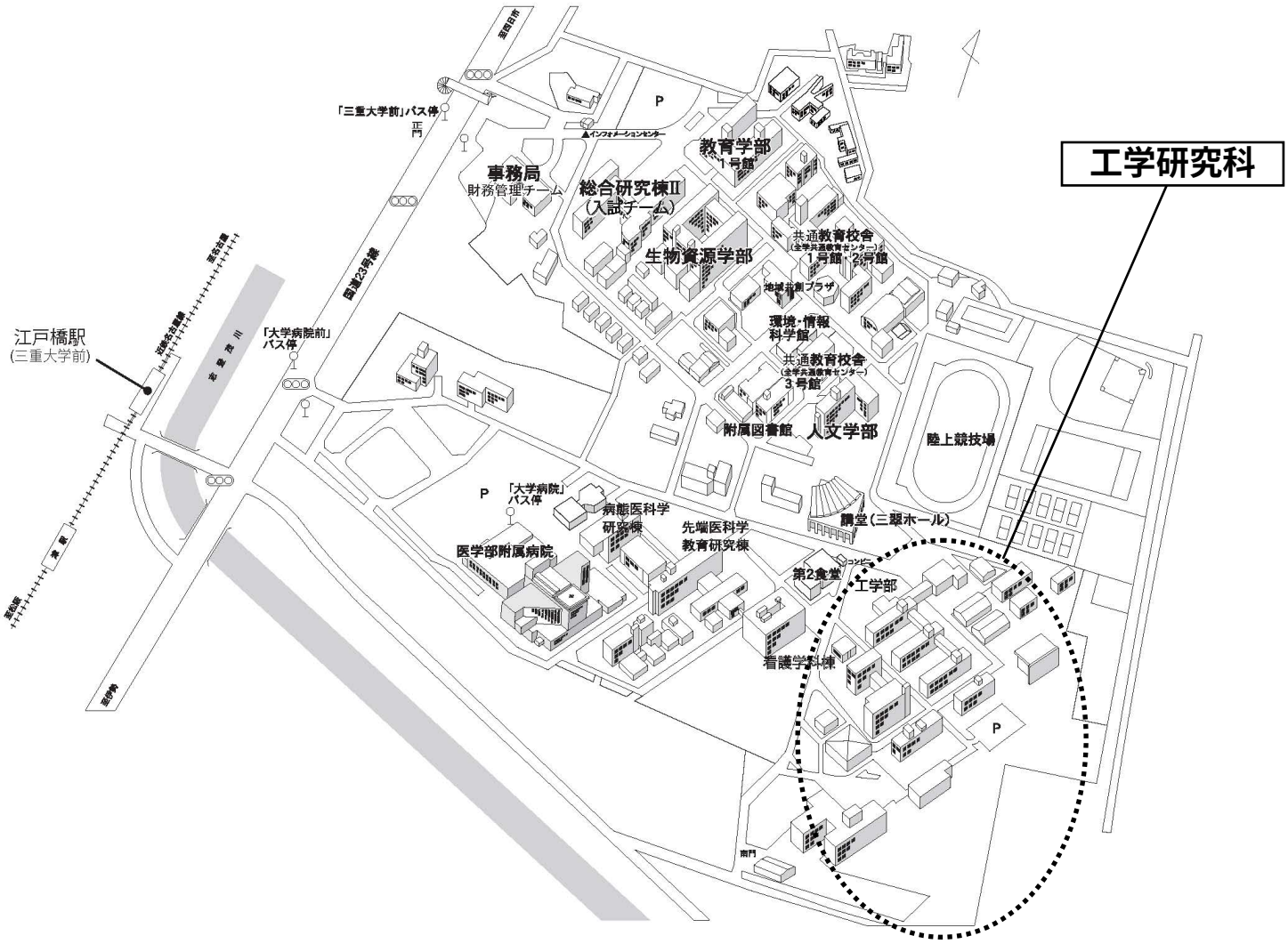
三重大学大学院工学研究科までの交通案内

① 近鉄江戸橋駅下車　徒歩約15分

② JR東海又は近鉄津駅下車
津駅前バスのりば（津駅東口)「4番のりば」から
三重交通バス「白塚駅」,「椋本」,「豊が丘」「三重病院」,
「東豊野」,「高田高校前」,「サイエンスシティ」
行きに乗車し「大学病院前」で下車　徒歩約10分
（「大学病院前」行で終点下車も可）

③ 津駅からタクシーで約10分

④ 伊勢自動車道「津I. C」から約20分，「芸濃I. C」
から約25分



各種問い合わせ先について

問い合わせ時間等：月曜日から金曜日の８時 30 分から 17 時まで（祝日は除きます。）

工学研究科の入学試験に関すること 授業科目・学修に関すること	三重大学工学研究科チーム学務担当 〒514-8507　三重県津市栗真町屋町 1577 ＴＥＬ　０５９－２３１－９４６９ ＦＡＸ　０５９－２３１－９４７１ E-mail　eng-gakumu@eng.mie-u.ac.jp
奨学金（日本学生支援機構）に関すること	三重大学学務部学生支援チーム ＴＥＬ　０５９－２３１－９０６１
入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること	三重大学学務部学生支援チーム ＴＥＬ　０５９－２３１－９６７８
学生寮に関すること	三重大学学務部学生支援チーム ＴＥＬ　０５９－２３１－５３７１
入学料及び授業料の納入に関すること	三重大学財務部財務管理チーム ＴＥＬ　０５９－２３１－９０２８

工学研究科の概要等については，三重大学大学院工学研究科・工学部 web サイトをご覧ください。

工学研究科・工学部 web サイト　https://www.eng.mie-u.ac.jp/

工学研究科入試情報 web サイト　https://www.eng.mie-u.ac.jp/admission/index.html